

家庭用生ごみ処理機の使用状況に係るアンケート調査結果報告書

○アンケート調査の実施概要

本市の生ごみ処理機購入補助金の交付を受けた方を対象に、家庭用生ごみ処理機の使用状況等を調査し、生ごみ処理機を使用しての感想や意見、生ごみの減量効果などを検証し、その結果を
ごみの減量施策の参考とすることを目的に実施しました。

実施期間 平成30年2月6日（火）から平成30年3月2日（金）まで
調査対象 平成21年度から平成29年度までに、本市の生ごみ処理機購入補助金の交付を受けた人

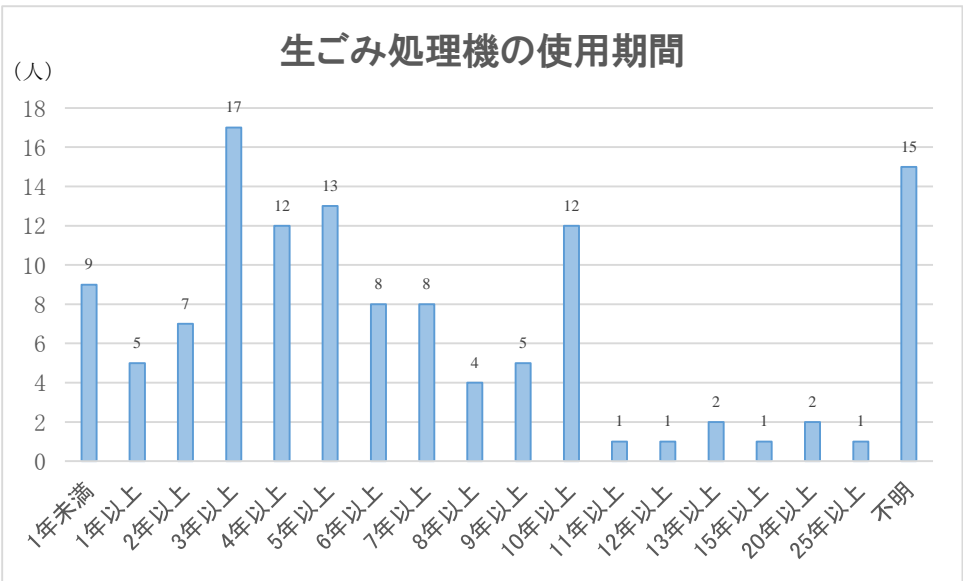
対象者数 216人
回答者数 123人
回答率 56.9%

○アンケート調査の集計結果

使用状況等のデータをまとめました。

1 生ごみ処理機の使用期間について

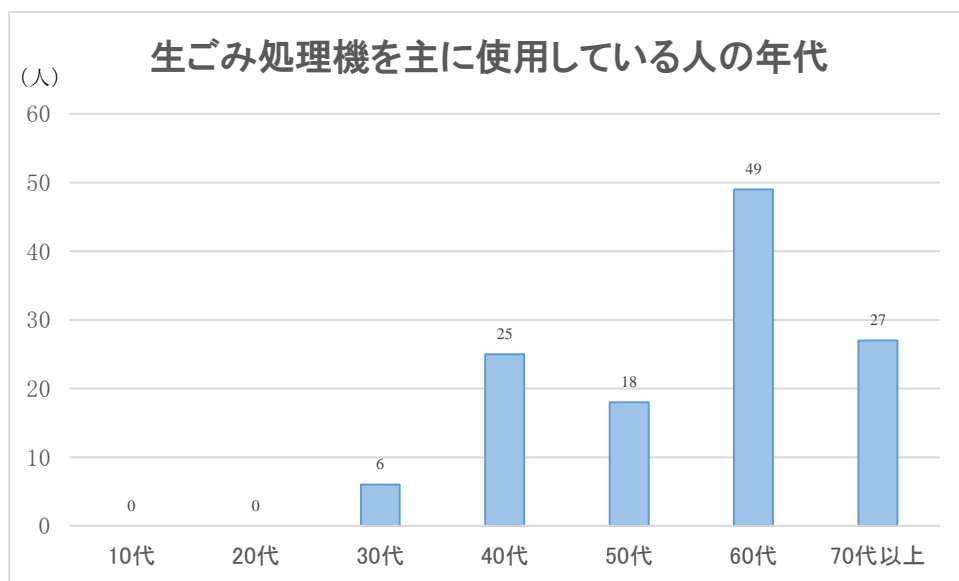
長期間継続して使用されている人もいます。



(N = 123)

2 生ごみ処理機を主に使用している人の年代について

使用している人の年代は、40代以上がほとんどで、60代で最も多く使用されています。

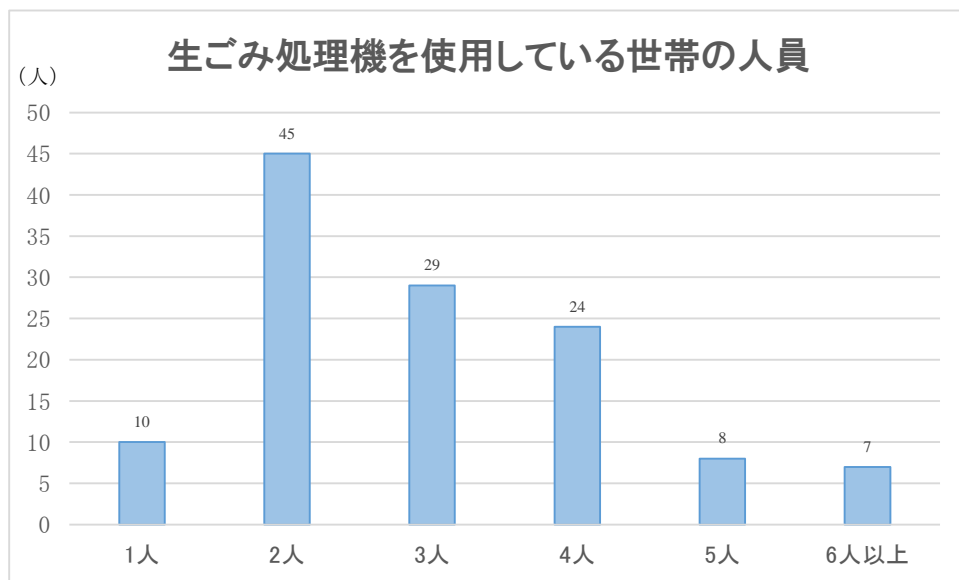


(N = 125)

(複数回答あり)

3 生ごみ処理機を使用している世帯の人員について

2人世帯が最も多くなっています。

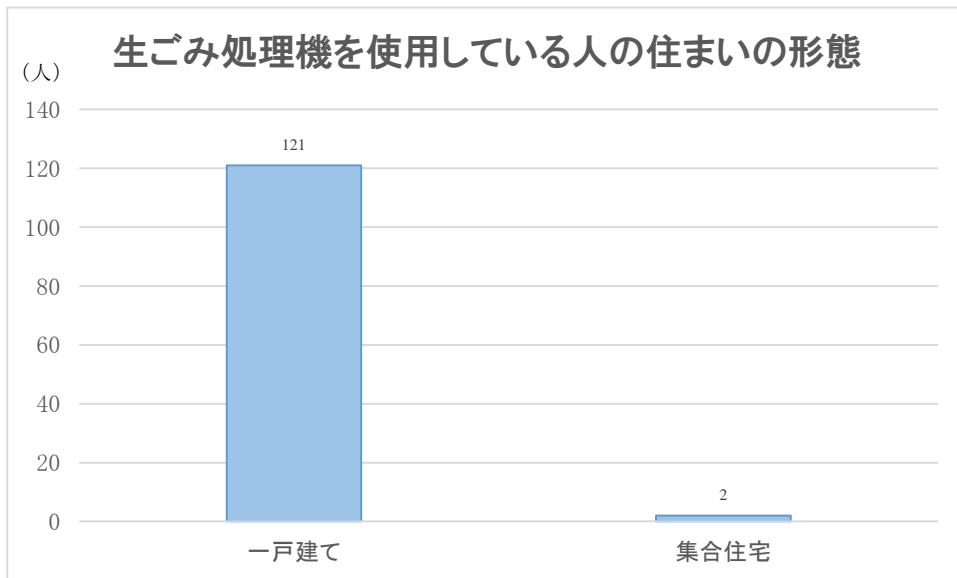


(N = 123)

4 生ごみ処理機を使用している人の住まいの形態について

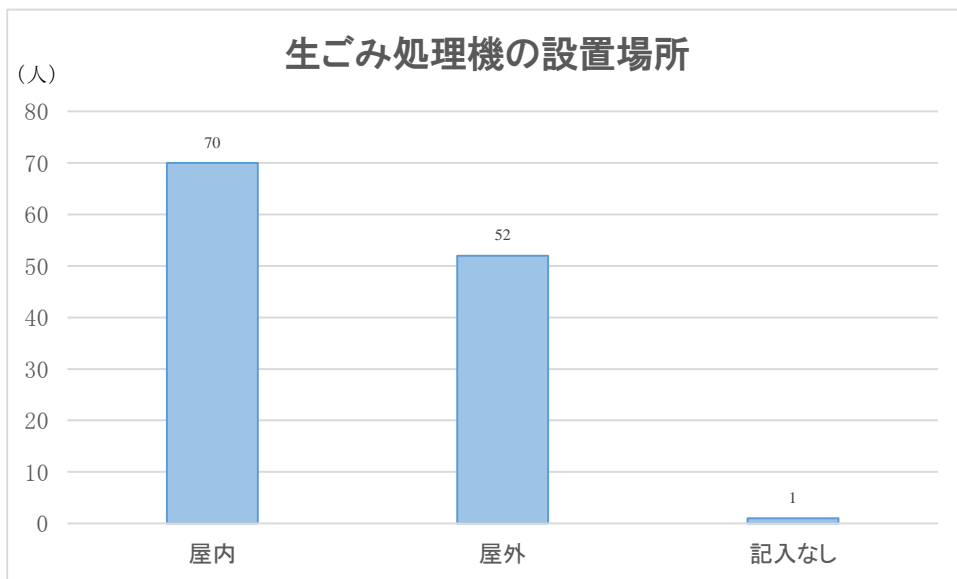
回答のあった人のうち、98%が一戸建てにお住まいです。

アンケート送付住所が集合住宅にお住まいとみられる人の多くは、あて所に尋ねあたらなかったため、転居等されているものと思われます。



5 生ごみ処理機の設置場所について

屋内に置いている人が約6割、屋外に置いている人が約4割となっています。

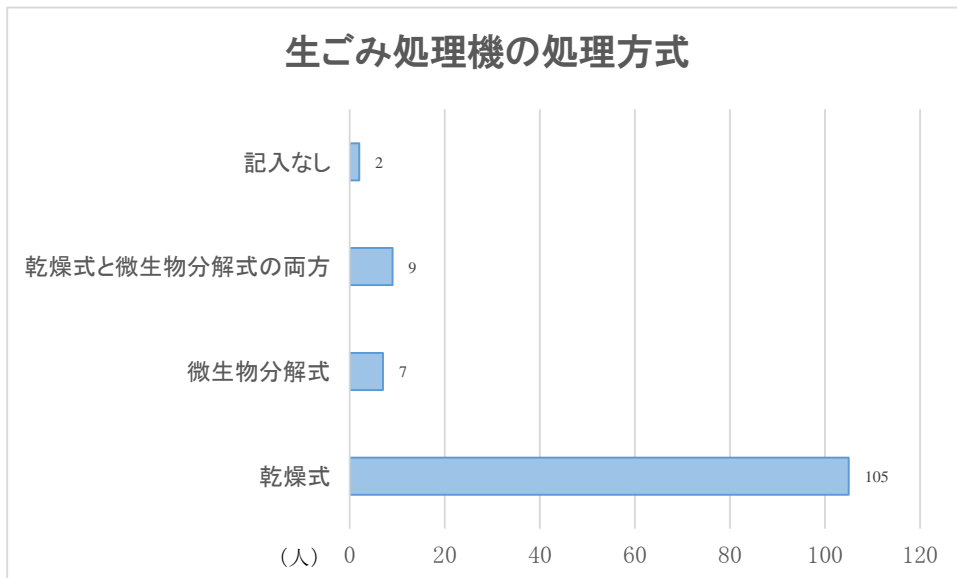


6 生ごみ処理機の処理方式について

約85%の人が乾燥式の生ごみ処理機を使用しています。

※ 乾燥式の生ごみ処理機は、電気を使用し、熱風で生ごみの水分を蒸発させて乾燥し、生ごみを減量・減容させます。

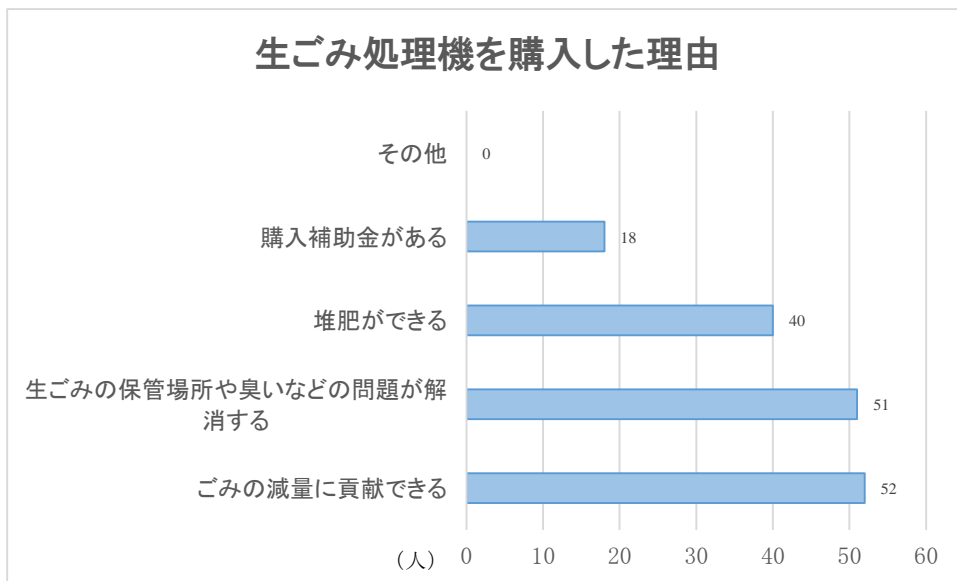
※ 微生物分解式の生ごみ処理機は、バイオ材を生ごみと混ぜるなどして、微生物の力を借りて生ごみを分解し、減量・減容させます。



7 生ごみ処理機を購入した理由について

生ごみ処理機を購入した理由として、最もあてはまるものを選択してもらいました。

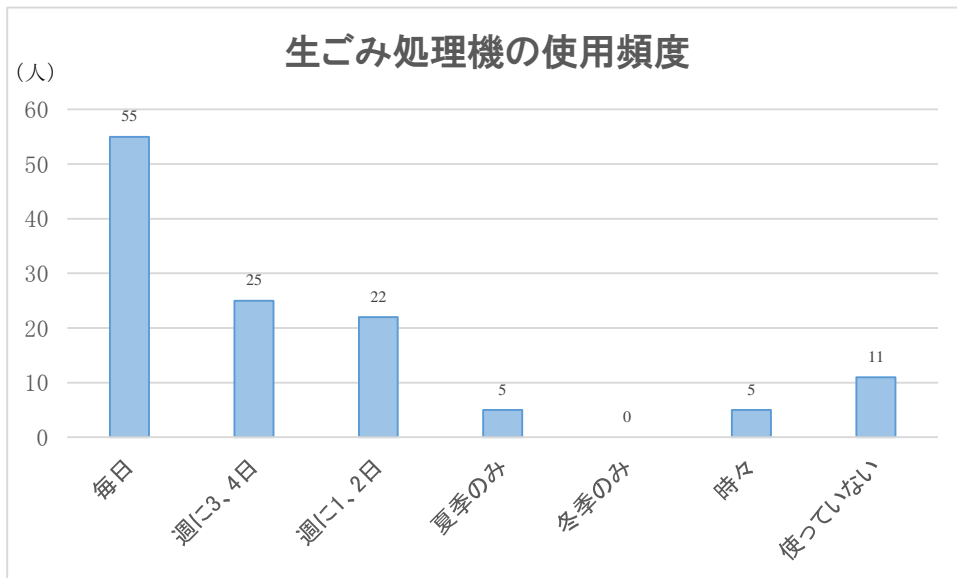
「ごみの減量に貢献できる」、「生ごみの保管場所や臭いなどの問題が解消する」を選択した人が多くなっています。



(複数回答あり)

8 生ごみ処理機の使用頻度について

毎日使用している人が最も多くなっています。回答者の8割を超える人が週に1、2日以上使用しています。

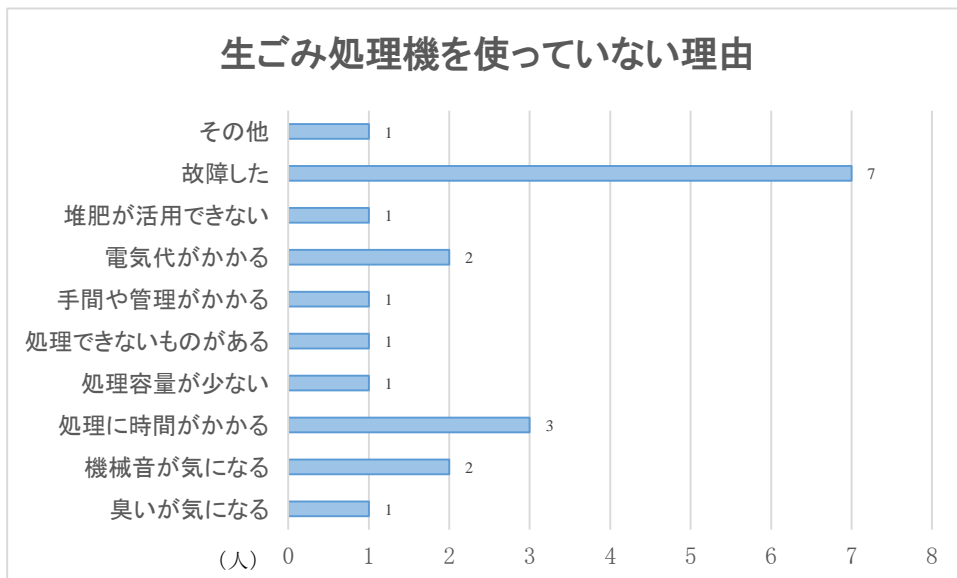


9 生ごみ処理機を使っていない理由について

生ごみ処理機を「使っていない」と回答した人を対象に、複数回答可として尋ねました。

「故障した」と回答した人が最も多くなっています。

「その他」には、「乾燥できずどろどろになる」といった機器の不具合を示す理由がありました。



(複数回答可)

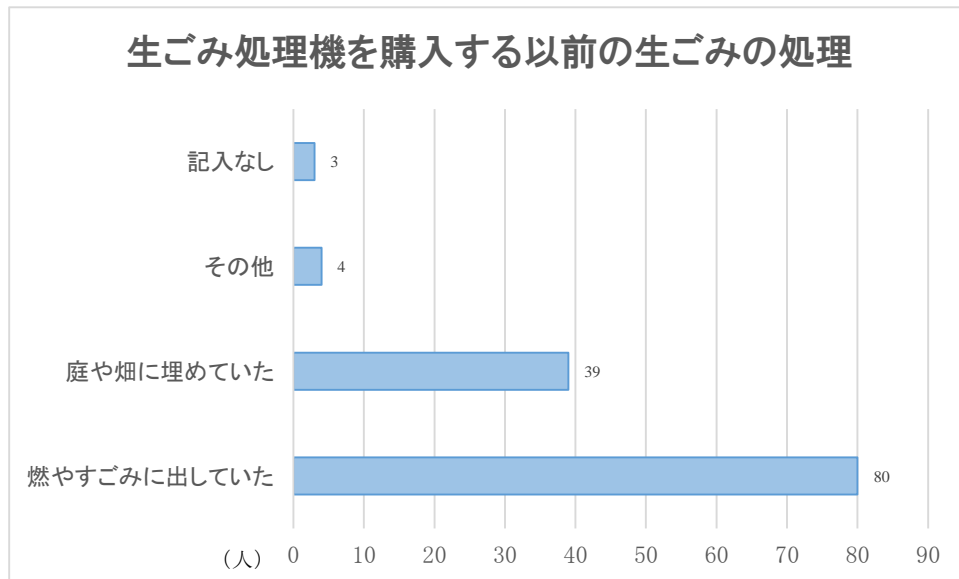
(N = 20)

10 生ごみ処理機を購入する前の生ごみの処理について

6割を超える人が、以前は「燃やすごみに出していた」と回答しています。

「その他」には、「腐敗促進用のプラスチック容器に投棄」、「コンポスト」、「モミを利用した

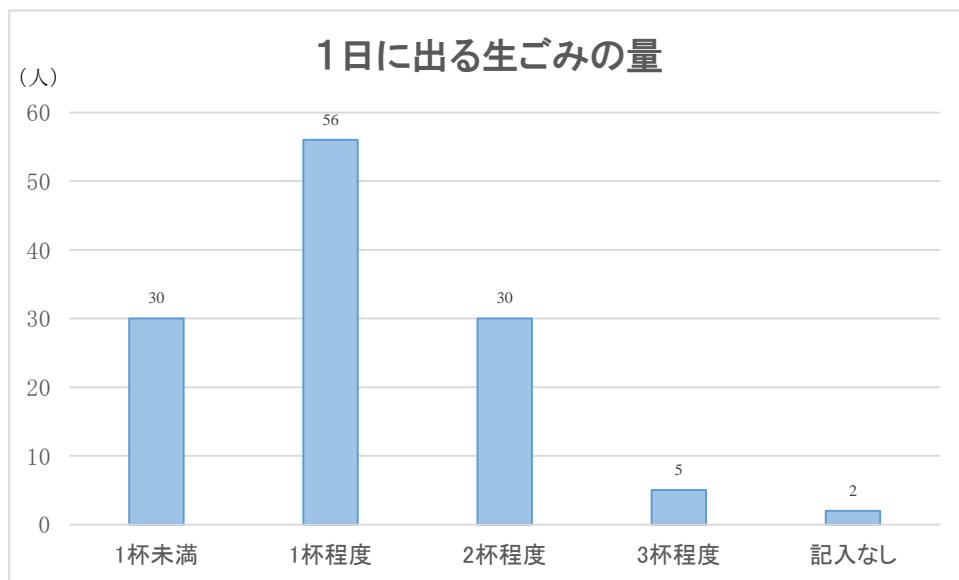
処理機」、「最初から処理機を使用している」などの回答がありました。



1.1 1日に出る生ごみの量について

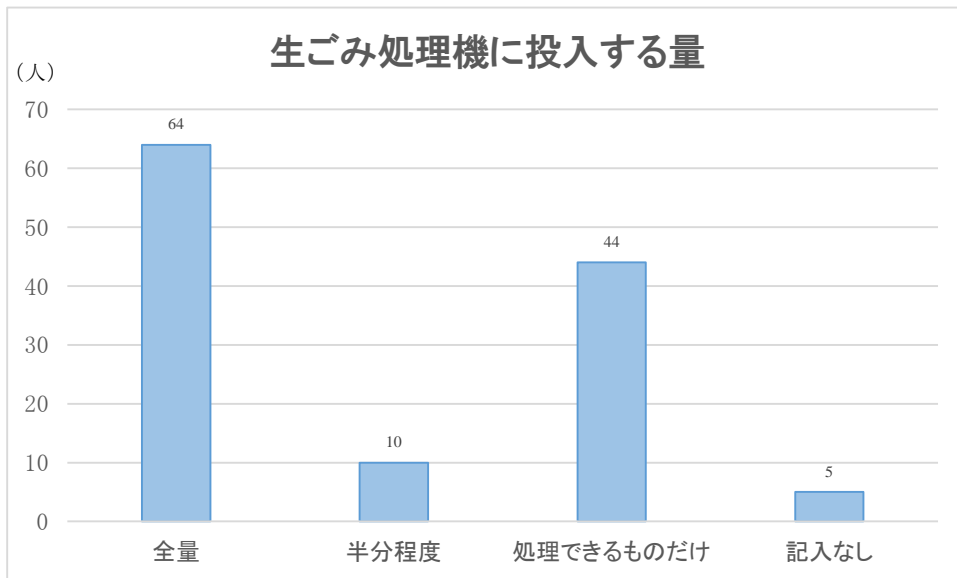
三角コーナーでどのくらいの量かを尋ねました。

各家庭で使われている三角コーナーの大きさなどにより異なりますが、「1杯程度」と回答した人が最も多くなっています。



1.2 1日に出る生ごみのうち、生ごみ処理機に投入する量について

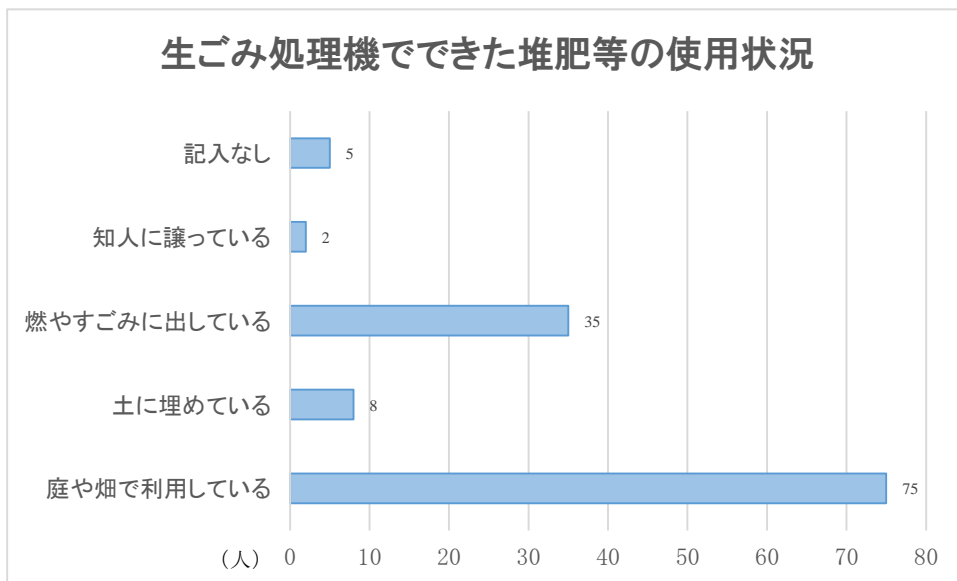
半数を超える人が1日に出る生ごみの全量を生ごみ処理機で処理しています。また、3割を超える人は、生ごみ処理機で処理できるものだけを投入して使用しています。



(N = 123)

1 3 生ごみ処理機での処理後に残るもの（堆肥や乾燥した生ごみ）の使用状況について

6割の人が「庭や畑で利用している」と回答しています。約3割の人は、燃やすごみに出しています。



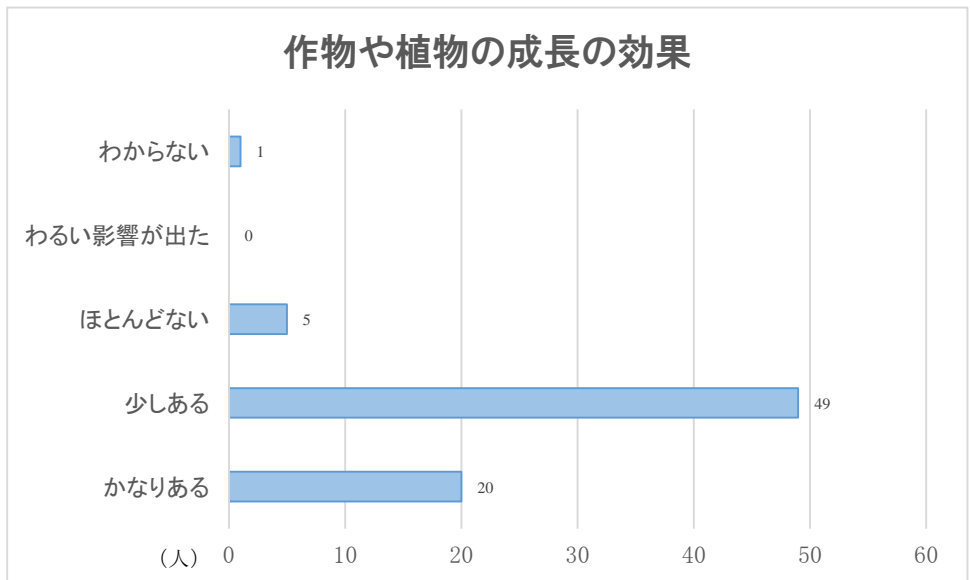
(N = 125)

(複数回答あり)

1 4 作物や植物の成長の効果について

生ごみ処理機でできた堆肥や乾燥した生ごみを「庭や畑で利用している」と回答した人を対象に尋ねました。

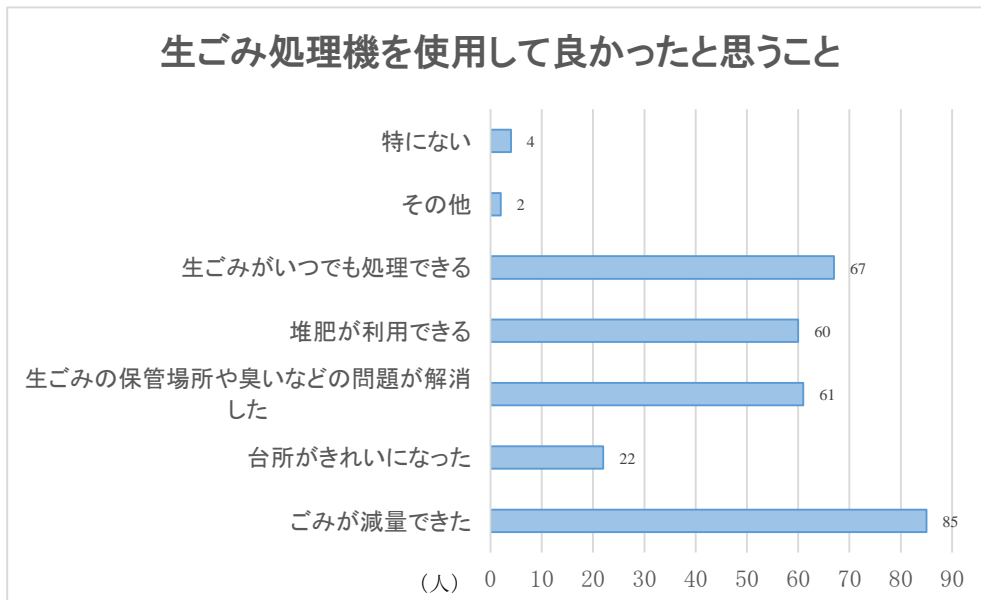
「かなりある」、「少しある」を合わせると、約9割の人が生育の効果を感じています。



15 生ごみ処理機を使用して、良かったと思うことについて

複数回答可として尋ねたところ、「ごみが減量できた」という点が最も多く挙がっています。「生ごみがいつでも処理できる」、「生ごみの保管場所や臭いなどの問題が解消した」、「堆肥が利用できる」という点も多く回答されています。

「その他」には、「夏場に虫が少ない。」、「虫がわかず大変衛生的である。」という回答がありました。

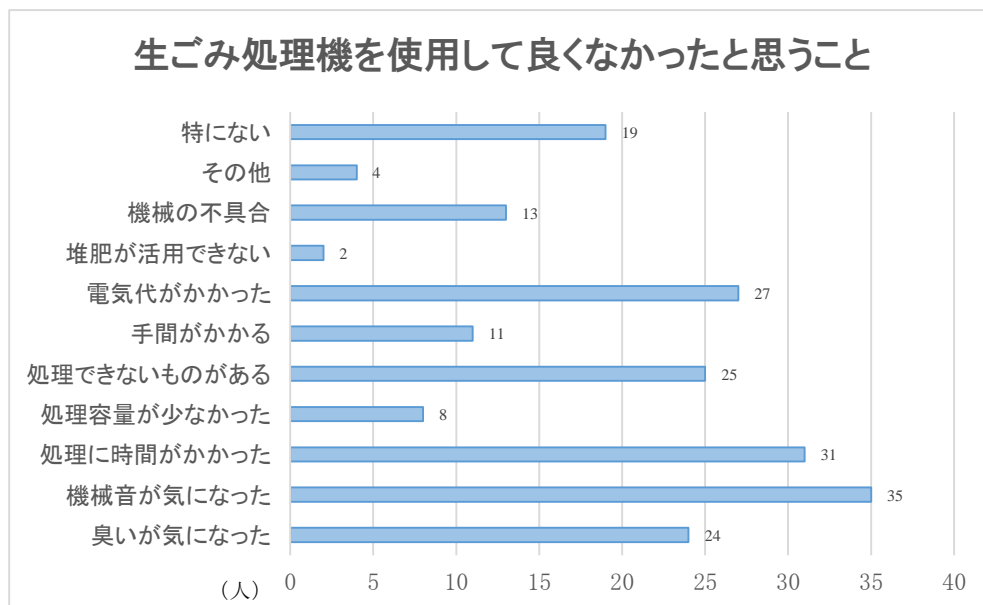


16 生ごみ処理機を使用して、良くなかったと思うことについて

複数回答可として尋ねたところ、「機械音が気になった」、「処理に時間がかかった」、「電気代

がかかった」、「処理できないものがある」といった回答が多くありました。

「その他」には、「量が少なく、時間がかかるので1回しかできない。」、「冬場は雪が積もると（堆肥等ができて）庭に埋められないので困る。」、「前回の微生物+乾燥の処理機では、臭いが気になったが、今の（乾燥式）は、不満はない。」、「（微生物分解式の場合）定期的にバイオチップ等を購入しないといけないので、費用がかかる。」といった回答がありました。



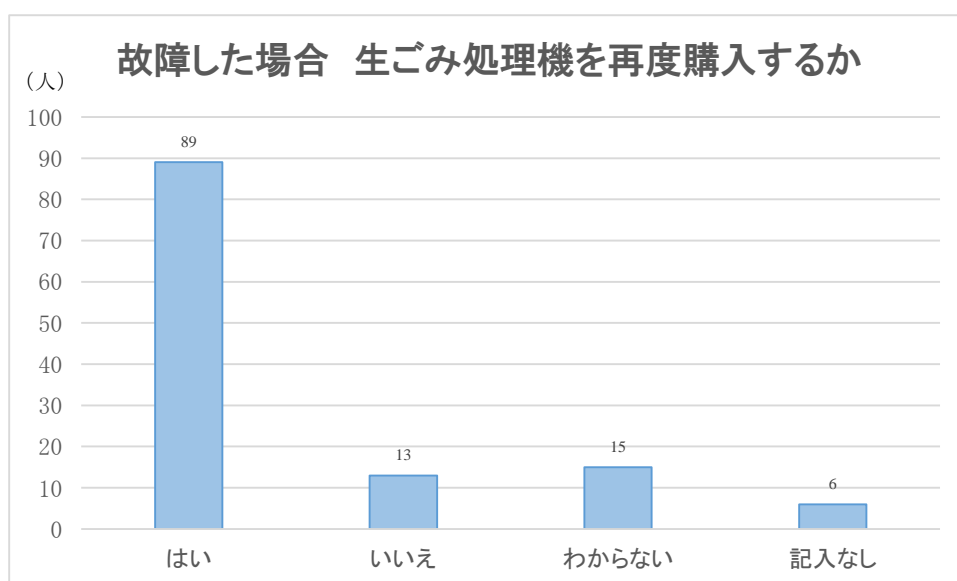
(複数回答可)

(N = 199)

17 生ごみ処理機が故障した場合について

生ごみ処理機が故障した場合、再度、購入するかを尋ねたところ、7割を超える人が、購入すると回答しています。

なお、購入後5年を経過すれば、再度、購入補助金の交付を受けることができます。



(N = 123)

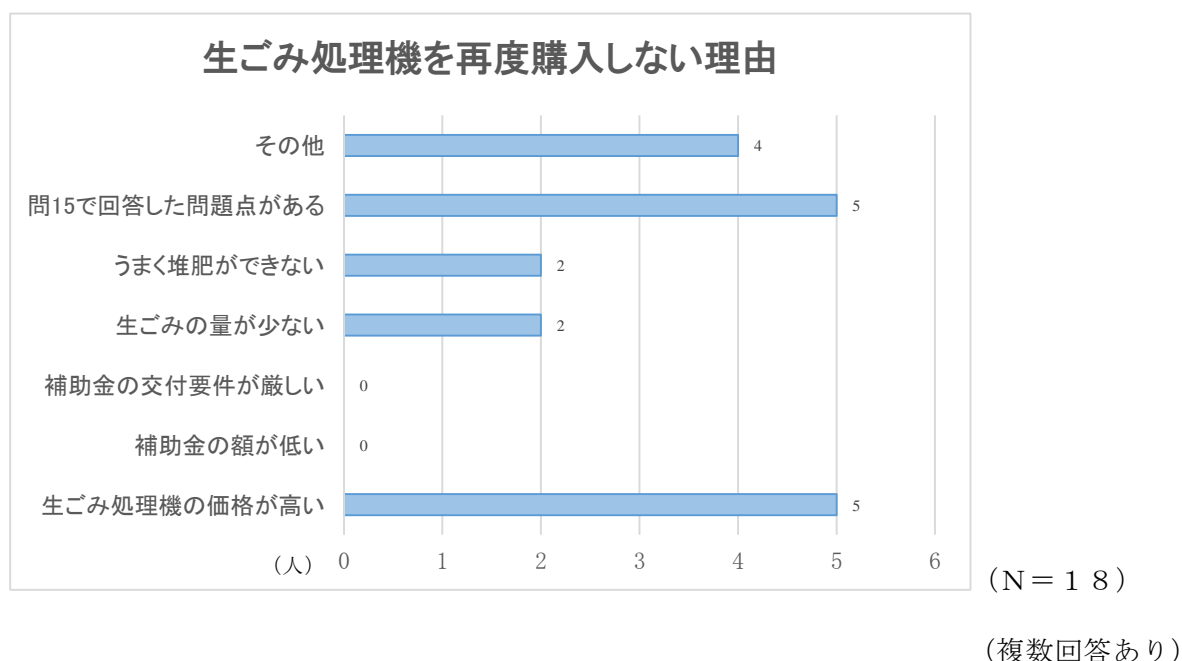
18 生ごみ処理機を再度購入しない理由について

生ごみ処理機を再度購入しないと回答した人を対象に、その理由を尋ねたところ、「生ごみ処理機の価格が高い」、「(アンケート用紙の) 問15で回答した問題点がある」といった理由が挙がっています。

「問15で回答した問題点」として挙げられているものは、「臭いが気になった」、「機械音が気になった」、「処理に時間がかかった」、「電気代がかかった」、「機械の不具合」です。

「その他」には、次のような回答がありました。

- ・臭いがする。
- ・現在使用している処理機は、もう製造されていないと聞いており、他の処理機は、使い勝手がよくないため、購入しないと思う。
- ・前回購入時は、3人家族だったが、現在は、1人でごみの量が減ったため。
- ・生ごみ処理機で処理しきれないため。ネギ、大根の葉、瓜の皮ですぐに故障した。修理で費用がかさむ。

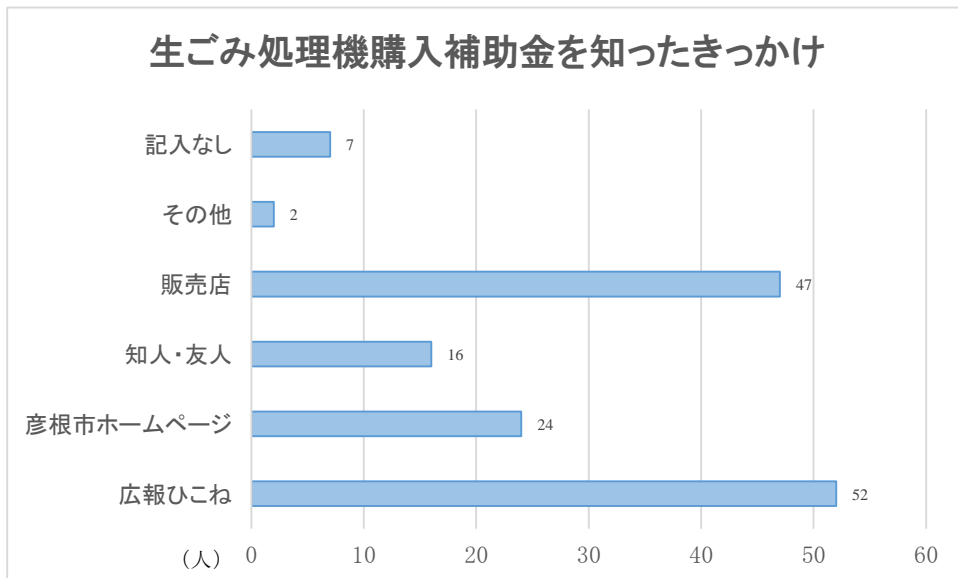


19 生ごみ処理機購入補助金を知ったきっかけについて

複数回答可として尋ねました。

「広報ひこね」のほか、「販売店」が多く挙げられています。

「その他」には、「新聞か何か」、「メーカー」という回答もありました。



(複数回答可)

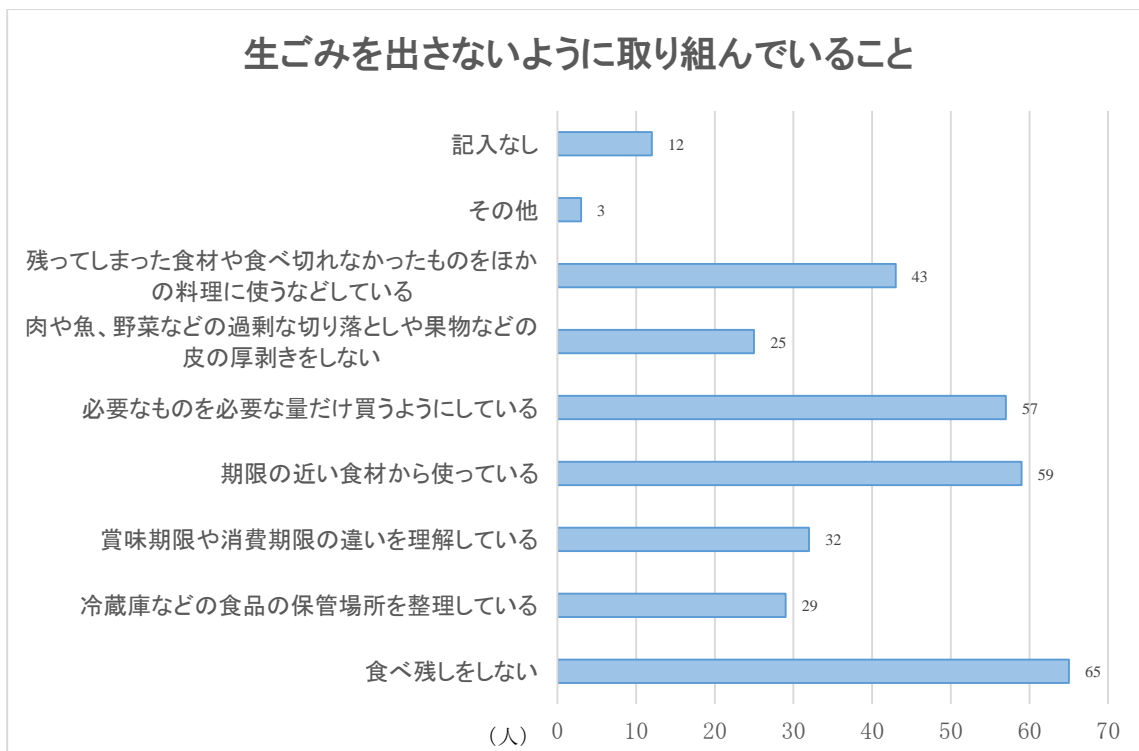
(N = 148)

20 生ごみを出さないように取り組んでいることについて

複数回答可として尋ねました。

「食べ残しをしない」、「期限の近い食材から使っている」、「必要なものを必要な量だけ買うようにしている」といった回答が多くありました。

「その他」には、いずれも、「冷凍保存している」との回答がありました。



(複数回答可)

(N = 325)

2 1 ごみの減量化のために有効だと思うことについて

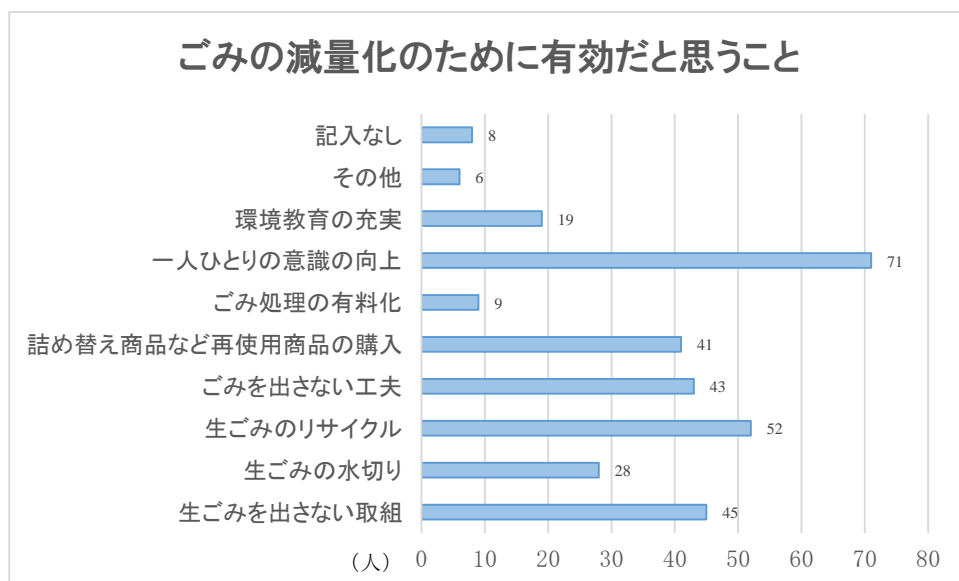
複数回答可として尋ねました。

「一人ひとりの意識の向上」が最も多く挙げられています。

「生ごみのリサイクル」、「生ごみを出さない取組」、「詰め替え商品など再使用商品の購入」といった回答も多くありました。

「その他」には、次のような回答がありました。

- ・ 広報や周知の強化、学校や自治会への出前講座
- ・ 戸別収集が、減量効果があると新聞で読みました。
- ・ 減量化に努めていても、出るものは出るの、状況をよくつかんで対応してもらえることが住民にはうれしい。
- ・ ごみはごみではなく資源であるとの教育と合わせて、発電など具体的な活用法を研究開発すること。
- ・ 収集日を気にせず出せる分別式収集用大型バケツの設置
- ・ 意識の低い人に対してどうするべきか。プラごみの仕分けすらしていない人もいる。ルール違反のごみは回収しないなどするべきではないか。



(複数回答可)

(N = 3 2 2)

○意見

生ごみ処理機を使用しての感想のほか、生ごみのリサイクルやごみの減量など、自由な意見を求めました。回答者のうち、52人から貴重なご意見、ご感想をいただきました。

生ごみ処理機を使用しての感想

- * 処理機も確か2台目だったと思いますが、使いかけると手放せなく、特に釣りの好きな者にとって、自宅で調理した後の魚の処理に処理機が乾燥を含めて便利で愛用しています。
- * 生ごみは必ず処理機で処理していますが、堆肥として使おうと思うと、相当量の生ごみを処理しなければならない。畑の肥料代削減のために購入したが、あまり削減できなかった。
- * (生ごみ処理機は、) 各家庭にあったほうが良いと思う。清潔である。もう少しメーカーに協力して安く使用できるように普及してほしい。環境が良くなる。
- * できるだけ畑に埋めるが、ねこが取り出すのでどうしたらよいか。においがある場合、近所に迷惑がかかるので、できるだけ残さずしたほうが良いと思う。
- * 個人的に減量化に努めて困っている点は、生ごみ処理機で処理したものを土に埋めたり、プランターに埋めたりして利用しています(蓋をし、重石をしている)が、ネコにエサだけあげて可愛がっている人がいて、ネコの数が増え、ネコにいたずらされて困る。住宅街では、ネコも責任をもって飼ってもらい、近隣に迷惑をかけないようにしてほしい。ところかまわず糞をしており、臭いがきつい。度々、後始末をしなければならないのはつらい。ネコが近寄らない効果があるのではと言われる対策をとっても効果はありません。
- * 生ごみ処理機の性能を上げることが必要です。臭いが気になりますし、処理したものを畑に撒いても猫やカラスが掘り起こすことがあります。
- * 処理機の導入で生ごみの量は、大幅に減量できます。また、ごみステーションの美化にもつながるのではないのでしょうか。
- * 生ごみ処理機の利用により燃えるごみの出す量が少なくなり助かっている。小蠅がわからない。
- * 微生物分解式のほうが、臭いも含め使い勝手が良かったが、2台目は同タイプがなくなっていたので、乾燥式にしたが、音や臭いが気になった。微生物タイプなら再利用したいが、今は販売しているか否かわからない。
- * 補助金で買入は乾燥式。分解式は堆肥で処理していた生ごみを入れていきます。

購入補助金に関すること

- * 生ごみ処理機は非常に役立っています。スイカでも1/10になるし、畑にやれるし夏場大助かりです。ところが、価格が高いため補助金をもっと増やしてほしいです。環境保全のために節約できることはもっと節約し、保全のためにもっと皆が使いやすいように手に入りやすいようにすべきです。
- * 市としての広報活動をもっとしたほうが良いと思う。また、補助金の額を増やすなど市としての予算を増やすことも必要だと思う。
- * もっと生ごみ処理機の金額が安く買えるようになれば、使う人が多くなると思う。そのためには、補助金をもっと高くしてほしい。これを使えば、生ごみの減量になると思います。
- * 生ごみ処理機は、畑で肥料として使いたいので購入いたしました。ごみの減量化は意識していませんでした。ただ、ほかの地域より補助額が少ないことは残念です。
- * 多くの家庭で生ごみ処理機を購入できるように補助金をもっと多く出せるようにしてほしい。
- * 破損したら、何回でも補助金を出してほしい。年数の間をあけたほうが良いと思う。
- * 処理機購入後5年経過で（再度の購入で）、再度補助金の交付を受けることができるのはありがたいです。
- * 補助金をさらに出し、家庭内での処理を推進する。
- * 購入補助金の額を増やし、家庭への生ごみ処理機の導入を増やすことにより、ごみの減量化になるのでは？あと、生ごみ処理機購入補助金の認知の低さ
- * 生ごみ処理機購入補助金を知らない人のほうが多いと思うので、もっと広報活動に力を入れるべきだと思う。

教育や意識に関すること

- * リサイクル、リデュース、リユースの意識をもっと各個人が持って消費活動をするのが大切と思う。リユースできるものでもたくさん燃えるごみとして廃棄されている状況である。
- * 彦根市は、ごみに対する意識が非常に低いと思います。ごみが平気で道路に捨てられており不快に感じています。（大都会においてもこんなにひどい状況ではありません。）最終処分場までのプロセスなど住民に意識向上を促す取組が必要ではないでしょうか。ごみ処分場の見学を一般市民に開放するなど、しくみを理解させることが有効な方法と考えられます。
- * 何でも「もったいない！」という気持ちを持って食品を使い切る努力をすることが大切だと思います。

- * その人の人間性
- * 一人一人、一家庭一家庭ずつの意識が一番大事だと思います。食べ残しをしないことや生ごみ処理の方法を小学校でもしっかりと教育するのが、これから食事を作る世代に必要なことかなと思いました。
- * 個人のごみに対する知識・意識の向上が必要です。
- * 我が家では、生ごみは、畑に埋めるので、ごみの量が他の家庭よりかなり少ないです。そのため、週2回の燃えるごみの日は、少ししかないので、1週間に1度まとめて捨てています。ごみ問題に対する意識は、滋賀県は高いほうだとは思いますが、それでもプラごみを分別せず、全部燃えるごみとして捨てている人もいます。教育が大切です。小学校で、ごみ・環境教育を徹底してすべきだと思います。
- * 賞味期限と消費期限との違いがまだ十分に理解されていないため、賞味期限が1日過ぎれば、廃棄処分される食料品を目の当たりにすると、賞味期限と消費期限の勘違いを正すため、行政でメディアを使い徹底的に是正してほしい。
- * 小・中学校での、環境問題について、ごみ問題に力を入れる教育が必要であろう。

リサイクルに関すること

- * 生ごみのリサイクルだけでなく、ごみ全体の減量およびリサイクル化を推進すべきと考えます。
- * リサイクルできるごみの回収を24時間受け付けてほしい。
- * 生ごみのみを集めて、肥料等に活用すべき。
- * いわゆるごみなるものはなく、全て循環して活用できる仕組みになっているはずです。
- * 発砲スチロールは、白のみにする。(リサイクルに回せる。)
- * リサイクルとして堆肥を利用するのは、不衛生です。家庭用生ごみ処理機程度では、完全に処理されているとは言えず、生ごみ感が残っており、庭等に撒くと、再度、湿気を吸って、生ごみに戻ってしまう感じです。悪臭がしました。猫が寄ってきて近所迷惑になると思います。家庭での生ごみのリサイクルを行政が推奨するのはやめてほしいです。
- * ごみ収集にリサイクルの収集を今より幅広く行い、リサイクルごみを明確にして、リサイクルに力を入れる。(ごみ → リサイクルできるものがどれなのかわかりづらい。 → とりあえずごみで捨てる。 → ごみが増える。)

ごみの有料化に関すること

- * 町内のごみステーションに、分別ができていないごみが残っていて不衛生。分別しなくてもよいごみ袋をやや高額の有料で販売してはどうか？収益でごみを分別するための人件費に充てられれば、雇用も増え、分別できない家庭も助かるのでは？
- * ごみの有料化として、袋の購入時に価格の上乗せをすれば、減量化につながるのではと思います。

ごみの減量への取組・仕組に関すること

- * 以前は生ごみをバケツにためて、実家に帰った時に実家の畑に埋めさせてもらっていたが、臭いの問題等があり、市の生ごみ処理機購入補助金があることを知り、思い切って生ごみ処理機を購入した。処理機に入れる前に生ごみを5cm以下にカットしなくてはならないとか機器の多少のメンテナンスはあるが、慣れてしまえば全く苦にならない。もっと補助金のことや生ごみ処理機のメリットをPRすべき。今回のアンケートで「購入後5年を経過すれば再度補助金が交付される」という内容を知ることができ、故障して買い替えの際は、是非利用したいと思った。彦根市民1人が1日に出すごみの量が他の市町と比べて多いということは、ごみ問題に対して意識が低いこともあると思うが、関心を持ってもらうようなPRが不足しているように思う。ごみを減量する知識や方法を紹介するような市民参加型のイベントなどをやってみてはどうかと思う。
- * 自宅前回収にしたら、減量化したという記事を読んだことがあって、いい方法だと思いました。各自、自分の家のごみが見えてしまうので、意識を持つようになるのでは。
- * ごみステーションの管理を徹底すべき。監視カメラの設置など。
- * 処理機に投入するのは、畑に埋めるとカラスや猫に荒らされて困るものを入れていまして、それほど入れませんが、野菜くず（皮）なども投入していたら多くなると思います。野菜くずは畑に埋めますので、ごみの減量化になっていると思います。生ごみは量もですが、特に重いと思いますので、回収も大変だと思います。新聞・雑誌、ダンボール等は、学校の資源回収かスーパーのリサイクルに持って行きます。服もリサイクルに一度持って行き、買取りできないものは、小さく切って、汚れたお皿等を拭くのに使ったりして食器類を洗います。お菓子の入った小箱、ティッシュの箱などもダンボールとして資源回収に出しています。何でも箱に入っていますので、あつという間にたまってしまいます。これだけでもごみの減量化になっていると思います。

- * ネットで読みましたが、半年くらいごみを自宅前に置く方法を試してみるのもよいかもしれません。ごみ出しに各自意識が高まり、町もきれいになりよいと思います。
 - * 個人の家より企業のごみをもっと減量化できるように考えていったほうがよいと思います。消費期限・賞味期限切れのものを廃棄されるようなら、もっとそれを有効活用できる状況にしていかなければならないと思います。少しずつそういう活動はされていると思いますが、もっと増やしていくべきだと思います。
 - * 日本は、賞味期限が厳しすぎると思います。期限が切れても十分食べることができます。皆がすぐに捨てない仕組みの構築、もったいないという意識が大切ですね。
 - * 電気の乾燥式を使用していますが、本来ならば、微生物分解式を使いたい。使用コストの少ない微生物分解式の開発・改良に向けた政策を望みます。自治会単位での生ごみ処理ステーションの拡大や、できた堆肥の活用方法等、市民参加の活動が活発になることを望みます。(尾末町、甲賀市水口町など)
 - * 各家庭のごみの減量化の取組も必要だが、飲食店やスーパー、コンビニなどの食品の廃棄も何か工夫・取組が必要と考えます。
 - * ごみを資源化しやすい取組が重要と考えます。
 - * 処理機の購入補助だけでなく、使用状況に応じた特典があれば、処理機の購入促進や生ごみの減量につながると思います。(住民税の減額など)
- 現状の燃やせるごみの捨て方は、全てが同じなので、個人の意識として注意しにくい。別袋化するなどルールを決定してはどうか？

その他

- * 暑い日も寒い日も荒天時も変わらず回収に処理に努めていただき感謝しています。
- * 本市は、住民の側に立った取組がなされていてよいと思う。他市(岡山県)では、特に、粗大ごみなど、回収方法・持込方法が細かく決められていて、老人には対応できないと思われる。時々帰省して母の家の片付けを手伝おうとするが難しい。本市の方法はよいと思う。
- * 以前にもアンケートに記入した覚えがあるのですが、アンケートがどのように生かされているのか知らせてほしいです。